

# アジア政経学会

## 平成 22 年度（2010 年度）事業概要報告書

### （1）平成 22 年度理事会の開催

①理事会の開催 第 1 回 4 月 10 日、第 2 回 5 月 22 日、第 3 回 7 月 3 日、第 4 回 9 月 4 日、第 5 回 10 月 23 日、第 6 回 12 月 4 日、にそれぞれ開催した。

### （2）大会、研究会の開催

#### ①東日本大会（5 月 22 日 主催校は北海道大学）

\* 共通論題 I 「中国と「边疆」：隣国との間」（報告者 4 名、討論者 2 名、日中同時通訳）  
（共催：グローバル COE プログラム「境界研究の拠点形成」/新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」）

\* 共通論題 II 「党、暴力、社会—近現代中国における暴力の考察」（報告者 3 名、討論者 2 名）

\* 分科会 1 「成長する中国経済と社会の変動」（報告者 3 名）

\* 分科会 2 「東アジア国際関係の新機軸」（報告者 3 名）

\* 分科会 3 「東アジアと東南アジアの国際関係」（報告者 3 名）

\* 分科会 4 「東南アジア諸国の財政と政治」（報告者 3 名）

\* 分科会 5 「比較の中のアジア日系企業：社会学と経済学の対話」（報告者 2 名）

\* 分科会 6 「現代東南アジアの国政選挙：勝利を目指して」（報告者 3 名）

#### ②西日本大会（6 月 12 日 主催校は京都大学東南アジア研究所）

\* 共通論題 「世界経済不況下のアジア経済の躍動—その経済構造と政府の役割—」（報告者 3 名、討論者 2 名）

\* 自由論題 1 「中国の産業と経済」（報告者 4 名）

\* 自由論題 2 「経済と協力」（報告者 4 名）

\* 自由論題 3 「国際社会」（報告者 3 名）

\* 自由論題 4 「歴史と社会」（報告者 3 名）

\* 自由論題 5 「政策と制度」（報告者 3 名）

\* 分科会 1 「国境に生きる人々から見る東南アジアの政治変動」（報告者 3 名）

\* 分科会 2 「二つの経済危機とインドネシアの変貌—1998 年と 2008 年—」（報告者 3 名）

\* 分科会 3 「歴史としての日韓国交正常化」（報告者 2 名）

#### ③全国大会（10 月 23 日・24 日 主催校は東京大学駒場キャンパス）

- \* 共通論題Ⅰ「多面的な中華世界の展開—華南におけるグローバリゼーション」（報告者 3 名、討論者 2 名）
  - \* 共通論題Ⅱ「アジア地域制度の再検討：「アジア・ウェイ」の動向と分析」（報告者 3 名、討論者 2 名）
  - \* 分科会 1「Islam, Minority and Women: Identity Politics in Contemporary Asia」  
(Asia Leadership Fellow Program (Japan Foundation/International House of Japan))  
(報告者 3 名、討論者 1 名、英語によるセッション)
  - \* 分科会 2「中国・沿海部の産業集積」（報告者 3 名、討論者 2 名）
  - \* 分科会 3「<境界>を問い直す：移動・シティズンシップ・アイデンティティ」（報告者 3 名、討論者 1 名）
  - \* 分科会 4「南アジアの紛争と国家建設—ネパールとアフガニスタンの事例から—」（報告者 3 名、討論者 2 名）
  - \* 国際シンポジウム「新興大国の台頭とアジア秩序の再編」  
(The Rise of Newly Emerging Powers and Reorganization of the Asian Order)  
(報告者 3 名、討論者 2 名、日本語・英語：同時通訳)
  - \* 自由論題 1「中国における市場経済の最新動向」（報告者 3 名）
  - \* 自由論題 2「中国における国家と社会の新潮流 1」（報告者 3 名）
  - \* 自由論題 3「アジア地域統合への展望」（報告者 3 名）
  - \* 自由論題 4「東南アジアと南アジアにおける新しい経済への転換」（報告者 3 名）
  - \* 自由論題 5「アジアの国際援助と安全保障」（報告者 3 名）
  - \* 自由論題 6「20 世紀中国共産党史の再検討」（報告者 2 名）
  - \* 自由論題 7「中国における国家と社会の新潮流 2」（報告者 2 名）
  - \* 自由論題 8「フィリピンの新しい政治経済分析」（報告者 2 名、討論者 1 名）
- なお、各大会の内容は学会ニューズレターで詳しく紹介されており、学会ホームページ (<http://www.jaas.or.jp>) に掲載されている。

### (3) 『アジア研究』刊行

- \* 『アジア研究』第 56 巻第 1 号・2 号合併号 平成 22 年 4 月刊行
- \* 『アジア研究』第 56 巻第 3 号 平成 22 年 7 月刊行

### (4) 国際交流の推進

- \* 全国大会で英語・日本語による国際シンポジウム「新興大国の台頭とアジア秩序の再編」(The Rise of Newly Emerging Powers and Reorganization of the Asian Order)を開催し、海外から報告者を招聘した。

(5) ニュースレターとホームページの充実

\*ニュースレターの充実に努め、研究大会報告の内容を豊富にした。

(6) 定例研究会の開催

\*第1回 7月3日 (報告者2名、コメンテーター2名)

\*第2回 9月4日 (報告者1名、コメンテーター1名)

\*第3回 12月4日 (報告者2名、コメンテーター2名)

(7) 会員数

\*2010年10月末現在、会員数は1,255名である。所属先、研究対象国、研究テーマの詳細はホームページに掲載した。

以上